

4 地域を担う人づくり

医療・保健・福祉・介護サービスにつきましては、連携を強化し、よりいっそうの充実を図ってまいります。予防接種や健診事業などを引き続き実施するとともに、特定健診等の受診者の拡大を図るために、国の補助金を活用し、訪問指導員による個別訪問を行い、健診の啓発を行ってまいります。

さらに、離島の妊婦の方々の健康診査等への支援を新たに行なってまいります。



▲特定健診・特定保健指導を呼びかける横断幕

平成25年度から、スポーツやコミュニティ活動など、市民生活を総合的に支援し、協働によるまちづくりを推進してまいります。

まず、コミュニティ活動の推進につきましては、市民との協働を推進していく中で、公民館をコミュニティセンターにあらため、平成25年度は35の地区振興会による管理運営をお願いすることとしております。

地区コミュニティセンターは、これまでも地域活動の拠点として利用されてまいりましたが、地区振興会主体の管理運営に移行することで、地域の方に、よりいっそう身近で利用しやすい場として、また、個性ある地域づくり活動の場として、活用していただきたいと考えております。

学校教育につきましては、よりよい教育環境の整備・充実を図るため、引き続き学校規模適正化を進めてまいります。離島

の高校生の修学につきましては、通学費等の一部支援を新たに開始いたします。

次に、平成25年度は、第68回熊本県民体育祭が9月14日、15日の日程で開催され、天草の各地域におきましてさまざまな競技が行われます。これを契機に、天草の競技スポーツの振興につなげていきたいと考えております。

5 機能的な社会基盤づくり

これまで、市民の皆様はもとより、市議会の特別委員会でもご審議いただきいております本庁舎建設につきまして、県が実施するくまもとアートのポリスを活用し、平成25年度から本格的に事業に着手したいと考えております。新庁舎での業務の開始は、

これまで、市民の皆様はもとより、市議会の特別委員会でもご審議いただきいております本庁舎建設につきまして、県が実施するくまもとアートのポリスを活用し、平成25年度から本格的に事業に着手したいと考えております。新庁舎での業務の開始は、

渡道路」の整備着手に伴い、本渡道路と連絡します街路の整備に向けた取り組みを行ってまいります。

また、海上交通につきましては、昨年10月から開始しました御所浦・三角航路への支援をはじめ、生活航路の支援やフェリーの利用拡大に、引き続き取り組んでまいります。

陸上交通につきましては、利用者や関係機関等の意見をふま



▶五和小・中学校完成予想図

平成30年度を目標に事業を進めてまいりますので、今後とも議員の皆様にはご協力いただきまじようお願いします。

市内の道路改良など、日常生活に係る基盤整備につきましては、引き続き実施してまいります。特に、熊本天草幹線道路「本

え、平成25年度中に現在の交通体系の見直し等を行い、26年度からの5カ年計画を策定いたします。

さらに、天草エアラインの利用につきましては、新たに市独自の利用促進策を盛り込み、利用客拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。機体の更新につきましても、県や地元市・町と協議を行いながら、検討を進めてまいります。

6 環境と共生のまちづくり

一昨年の東日本大震災により発生した原子力発電所の事故を契機に、私たちはエネルギーに関する多くの問題や課題について考えさせられました。

今後は、自然と環境に配慮したエネルギーの供給・需要環境をいかに整えるか、真剣な取り組みが必要であると考えております。

このような中、本市におきましては、住宅用太陽光発電シス



▲天草エアラインの飛行機「ダッシュ8」

テムの設置費への支援を、引き続き実施してまいりますとともに、メガソーラー発電所の誘致や風力発電など、再生可能な新エネルギーの導入につきまいたいと考えております。

また、本市バイオマスタウン構想に掲げ、地域循環型社会を形成するための主要プロジェクトとして取り組んでおります汚泥再生処理センターにつきま

ては、平成28年度完成に向け、地域の皆様のご理解を得ながら、慎重に進めてまいります。

一方、本市は、四方を海に囲まれ美しい自然環境に恵まれておりますが、海岸景観をそなわい、また、沿岸漁場への影響も懸念されている現状にありますので、海岸漂着物対策に積極的に取り組む、天草の宝である藍色に輝く海を後世に引き継いでいきたいと思っております。

◀工事が進む市有地を活用したメガソーラー発電所(楠浦町)

